

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化 武道推進モデル校 研究報告

柔道・少林寺拳法	周南市立岐陽中学校（ 山口県 ） 電話番号 （0834）22-8840 メールアドレス kiyochu@shunan.ed.jp
-----------------	--

●実践研究のねらい

- 柔道・少林寺拳法の2種目を実践することで、日本固有の伝統と文化により一層触れるとともに、武道の特性や成り立ち、基本動作などの武道特有の知識・理解を深める。
- 地域スポーツ指導者の専門的な指導により、安全で充実した授業の展開と教員の指導力の向上に資する。また、武道特有の技能の習得や、礼法及び伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を養う。
- 武道が重んじる「相手を尊重する」「自己を律する」という精神を学び、今後の生活に役立てていこうとする意識と実践力を高める。

●多様な武道の指導モデル 第2学年（ 6学級 218名 ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	
種目	オリエンテーション（柔道・少林寺拳法）	柔道					少林寺拳法		
学習の流れ		導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）							
		準備運動							
		礼法の学習	基本動作の学習		簡易な試合			礼法の学習	
		基本動作の学習	基本動作の学習		簡易な試合			基本動作の学習	
	整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）								

●指導の工夫

- 1 効果的に指導するための工夫
 - 大規模校での実践ということで、日課編成上、複数クラス同時の授業展開となった。生徒に限られた時間内で、武道に対する興味・関心を高められるように、地域スポーツ指導者には実演を中心に協力いただくことで、生徒の技能習得に向けた意識付けを図ることができた。
 - 適宜、掲示用資料を使用し、地域スポーツ指導者の実演と合わせて、生徒がより習得しやすい状況をつくり出すことができた。
- 2 生徒の安全を確保するための工夫
 - 柔道は裸足での実践となることから、事前に体育館フロア及び畳の安全確認を行った。また、武道を初めて実践する生徒が多数のため、準備運動を入念に行うなど、ケガの防止に努めた。併せて、感染症対策として事前事後の手洗い、手指消毒等を徹底した。

●授業の様子



【 柔道：後ろ受け身の練習 】

礼法、受け身、固め技について、実演を交えながら丁寧に指導いただいた。指導者が複数いることで、安全管理のみならず、個別の支援も充実させることができた。



【 少林寺拳法：組み手の実演 】

基本的な構え、蹴りなどの習得に時間をかけて練習した。自分の身を守る術について、地域スポーツ指導者の実演を見本にししながら、取り組むことができた。

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

<p>1. 多様な武道（※2種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。</p>	<p>2. 多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。</p>	<p>3. 多様な武道を学習する授業は楽しいですか。</p>
<p>■高まった ■やや高まった ■あまり高まらなかった ■高まらなかった</p>	<p>■深まった ■やや深まった ■あまり深まらなかった ■深まらなかった</p>	<p>■楽しい ■やや楽しい ■あまり楽しくない ■楽しくない</p>
<p>生徒は、地域スポーツ指導者から専門的な指導を受ける過程の中で、本格的な知識や技能を身に付けるとともに、武道全般が大切にする「礼」の精神などについても学ぶことができた。多くの生徒が「礼」の精神に共感したこともあり、武道に対する肯定的な意見が多かったと考察している。</p>		

●成果

- 上のグラフからも分かるように、授業後のアンケートでは、どの項目においても肯定的に捉えている生徒が9割強に達していることから、本事業の成果を感じている。
- 少林寺拳法では、構え・突き・蹴りといった基本的な技能だけでなく、ペア活動を通して組み手を行い、護身のためにも意欲的に取り組むことができた。
- 柔道では、受け身や固め技などの技能の向上が顕著に見られた。また、地域スポーツ指導者による実演があったため、よりスムーズな技能の習得につながった。

●課題

武道が重んじる「礼節（礼儀）」の指導では、地域スポーツ指導者自らの実体験や思いも加えた説明により、改めて日常のあいさつや礼法に対する意識（価値観）の高まりを感じた。生徒たちが感じた思いを学校生活の中で表現できるようにサポートしていきたい。